

活力にあふれ人が集い 心ふれあうまち

多様な働き方の実現や市内経済を支える産業の振興、町会、ボランティアなどの団体に対する活動の促進などにより、「まちの活力」の創出を目指します。

また、地域資源を活かした観光の取り組みを通じて、賑わいの創出を目指すことや、国内外の地域住民の交流を促進することで、人が集まり、心ふれあうまちを目指します。

活力にあふれ人が集い心ふれあうまち

施策 29 多様な働き方への支援・充実

施策 30 産業振興の推進

施策 31 地域資源を活用した観光振興の推進

施策 32 市民活動の活性化と地域交流の促進





第10回戸田市フォトコンテスト優秀賞

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

<p>1 貧困をなくそう</p>	<p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p>
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	<p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>	

基本目標 VII に該当するSDGsの目標は、背景色をカラーで示しています。



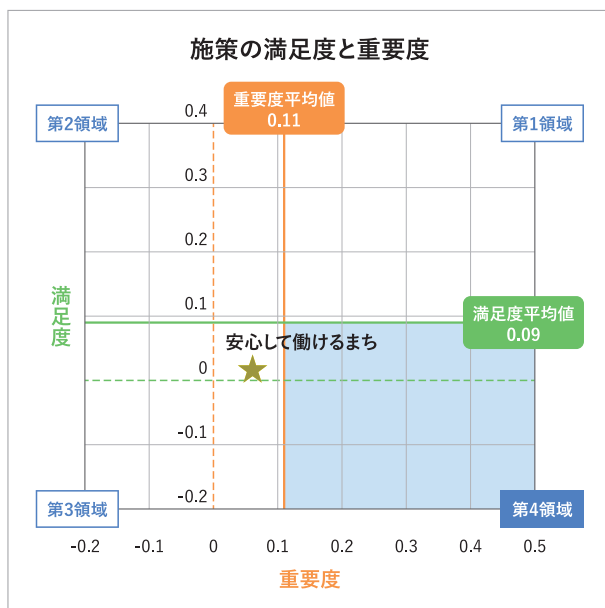
多様な働き方への支援・充実

【施策の目的】

女性や若者、高齢者、障がい者、外国人などの労働者それぞれの事情に合わせた就労機会の創出、キャリア形成の実現を図るとともに、各支援機関と連携し、起業相談などの充実を図り、起業家の育成支援を強化していくことで、多様な働き方への支援をしていきます。

現況と課題

- 女性や若者、高齢者、障がい者、外国人などの活用が進み、人材の多様性が高まっています。また、平成31年（2019年）4月には、働き方改革を推進することを目的とした働き方改革関連法^{*}が施行され、労働者がそれぞれの事情に応じた多様な働き方を選択できる社会の実現が求められています。
- 戸田市では、労働者それぞれの事情に合わせた就労機会の創出やキャリア形成の実現を図るため、市庁舎内の戸田市ふるさとハローワーク（川口公共職業安定所附属施設）と連携した職業相談や各種セミナーなどを開催し、多様な働き方への支援を推進しています。
- 対象者（女性や若者、高齢者、障がい者、外国人など）によって求められる支援が異なることから、関係機関や団体、関連部署が連携してそれぞれの役割を果たすことで、幅広い対応を進めていくことが重要です。
- 起業については、戸田市創業支援等事業計画に基づき、戸田市がワンストップ窓口^{*}となり、戸田市商工会をはじめとする各支援機関と連携し、セミナーや起業相談の充実を図り、起業家の育成支援を強化していく必要があります。
- 起業を志す人に対しては、戸田市商工会起業支援センター^{*}オレンジキューブを拠点とし、施設の有効活用を呼び掛けるとともに、役立つ情報提供や起業家に寄り添った切れ目のない支援を継続的に展開することが求められます。





取り組みの方針

(1) 多様な働き方への支援

- 労働者それぞれの事情やニーズに合わせた就労機会の創出を図るため、戸田市ふるさとハローワークと連携した職業相談や各種セミナーなどを開催します。
- 女性や若者、高齢者、障がい者、外国人などを所管する関連部署間の連携により、多様な働き方への支援を強化します。

(2) 各支援機関との連携による多様で切れ目ない起業支援

- 戸田市がワンストップ窓口となり、戸田市商工会をはじめとする各支援機関と連携し、戸田市商工会起業支援センターオレンジキューブを拠点に、セミナーや交流会、アドバイザーによる起業相談の充実を図るなど、垣根を超えて、創業初期から起業家に寄り添った切れ目ない支援に努めます。

主要指標

指標名	指標説明	当初値	目標値	備考
市内事業所の従業者数	市内の事業所における従業者数	64,913人	64,913人以上	【経済センサス】 現状以上を目指す
多様な働き方実践企業数	埼玉県が認定する多様な働き方実践企業数	75社	135社	【多様な働き方実践企業認定制度】 直近3年間の増加率の平均値 (年12社)を加算
創業比率	「新設事業所等を年平均にならした数/既存事業所数」の割合	4.94%	5.04%	【経済センサス】 全国平均値を目指す

関連計画

- 戸田市創業支援等事業計画(改定版)

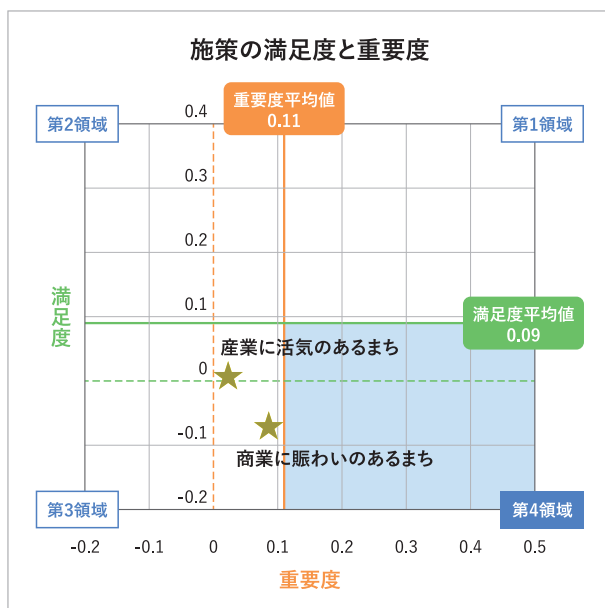


【施策の目的】

戸田市を支える市内事業者の経営基盤の安定を図るとともに、競争力を高めるための新しい技術や商品の開発、立地や設備投資、人の集まる店舗づくり等を支援していくことで、地域に根差した産業の振興を推進します。

現況と課題

- 平成27年(2015年)国勢調査によれば、戸田市では働く人のおよそ3人に1人が市内で従業しています。また、印刷業と運輸業が集積しており、市内産業の特徴となっています。さらに、平成28年(2016年)年経済センサス[※]によれば、戸田市には5,200以上の事業所があり、約65,000人が従業しています。
- 事業所の多くは中小企業であり、日本全体の景気動向の影響を受けやすく、少子高齢化に伴う「人材不足」や「人手不足」による事業承継の問題に直面しています。また、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、先行きが見通せない状況にあります。そのため、産業の縮小につながることを懸念されることから、安定的な経営基盤の構築に向けた支援が必要です。
- 産業については、地域を経済的に活性化するだけでなく、人々の就業の場となり生活を支える機能も有しています。国は、まち・ひと・しごと創生基本方針2019において「新たなビジネスモデルの構築等による地域経済の発展」を掲げ、地域経済において中核的な役割を果たす企業の発掘・成長に対する重点的な支援などを打ち出しています。
- 市内には特徴ある技術を持った企業も多く、工業見える化事業[※]などを通じての紹介や新しい技術・商品の開発、設備投資などの支援に努めていますが、戸田市商工会との連携の下、更なるPR・支援の強化を検討していく必要があります。
- 戸田市優良推奨品「戸田ブランド」[※]を認定し、戸田市商工会との協働の下、シティプロモーション[※]の観点からも、引き続き魅力的な商品や店舗づくりを支援していくことが求められています。



埼玉県立戸田翔陽高等学校写真部 協力・提供





取り組みの方針

(1) 産業の競争力強化に向けた支援

- 新技術・新製品の開発など、事業者の新たな事業活動の支援や展示会などの外部への発信を積極的に支援することで、市内事業者の競争力の強化を図ります。
- 市民や事業者に対して関係機関や戸田市商工会、戸田市の取り組みを周知して活用を促すとともに、ビジネス交流会などの機会を継続的に提供します。

(2) 中小企業の経営基盤強化に向けた支援

- 社会情勢や事業者のニーズに応じた補助金制度や制度融資を検討していくとともに、市内事業者の動向の把握に努め、支援の充実を図ります。
- 戸田市商工会などと連携し、戸田市の支援策や産業の育成につながる事業者にとって有益な情報の発信、経営改善に向けた各種講習会の開催などを継続的に実施することで、市内企業の経営基盤の強化を図ります。

(3) 地域産業の支援

- 多様化する消費者ニーズや社会的課題に対応するため、空き店舗などを活用する新規出店者や商店会などの魅力づくりを支援します。
- 工業見える化事業や戸田市優良推奨品「戸田ブランド」認定の充実を図るとともに、市内事業者の特徴ある技術や魅力的な商品などをPRします。

主要指標

指標名	指標説明	当初値	目標値	備考
事業所数	市内で経済活動が行われている事業所の数	5,252事業所	5,252事業所以上	【経済センサス】現状以上を目指す
商工会員数	戸田市商工会の会員数	2,693事業所	2,693事業所以上	減少傾向を改善
産業支援に係る補助・支援制度利用件数	産業支援に係る支援制度の延べ利用件数	1,065件 (H27-R1までの実績)	1,065件以上	現状以上を目指す

関連計画

- 戸田市経済戦略プラン



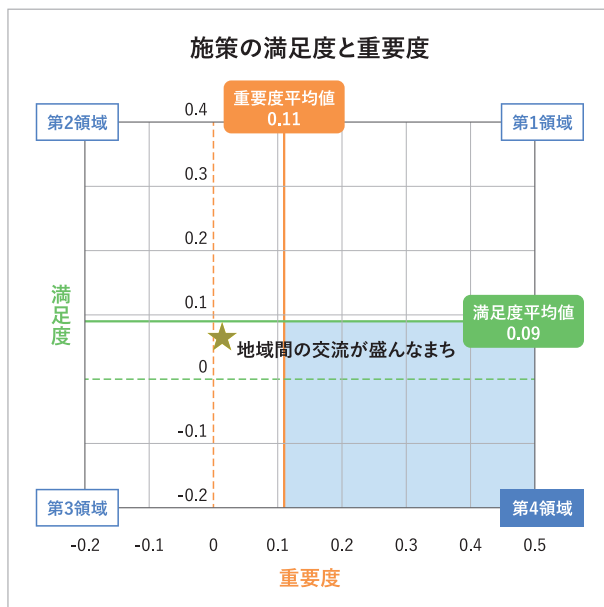
地域資源を活用した観光振興の推進

【施策の目的】

戸田橋花火大会、戸田ボートコース、彩湖・道満グリーンパークなどの地域資源を観光振興の観点から活用を図ることにより、戸田市への愛着を育み、市内外の誰もが観光を楽しめる環境を整備します。

現況と課題

- 我が国は、自然・文化・気候・食という観光振興に必要な4つの条件を兼ね備えた、世界でも数少ない国の一つです。国は、平成28年(2016年)に明日の日本を支える観光ビジョンを策定し、観光を地域活性化の柱と位置付けています。
- 戸田市は、東京都心から20km圏に位置し、広域的な交通利便性が高いという地の利があります。また、荒川や彩湖・道満グリーンパーク、戸田ボートコース、戸田橋花火大会などの地域資源があります。これらの立地条件や地域資源を有効に活用しながら、「訪れたいまち」として魅力を高め、市外からの来訪者を呼び込んでいく必要があります。
- 戸田市は、転出入が多く、地域への愛着が育まれにくいという背景があります。市民に地域の魅力を知ってもらい、「住み続けたいまち」として愛着を醸成していくことも重要となっています。
- 彩湖・道満グリーンパークや戸田ボートコースなどの地域資源の更なる活用などを検討しながら、戦略的な観光振興を展開していく必要があります。



埼玉県立戸田翔陽高等学校写真部 協力・提供





取り組みの方針

(1) 観光振興の戦略的な展開

- 戸田橋花火大会や彩湖・道満グリーンパーク、戸田ボートコースなどの活用方策を検討し、更なる魅力向上を図りながら、戦略的な観光振興を展開します。

(2) 地域の魅力を知る機会の提供

- 戸田市の自然、歴史・文化、産業、暮らしなどの魅力を市民に対して発信し、地域の魅力を知る機会の提供に努めます。

(3) フィルムコミッション*の推進

- フィルムコミッション事業を推進し、戸田市の魅力を幅広く発信します。

主要指標

指標名	指標説明	当初値	目標値	備考
戸田市に愛着を感じている割合	戸田市に住み続けたいと感じている市民の割合	82.3%	86.4%	【市民意識調査】平成22年度(2010年度)から平成30年度(2018年度)までの増加率の平均値(年0.69%)を加算
観光入込客数	市内外からの観光を目的とした来訪者数	1,370,947人	1,370,947人以上	【埼玉県観光入込客数報告】観光入込客を現状よりも増加
フィルムコミッションによる撮影件数	フィルムコミッション協議会を介して市内で撮影された件数	69件	69件以上	直近5年間の平均値から減少傾向を改善



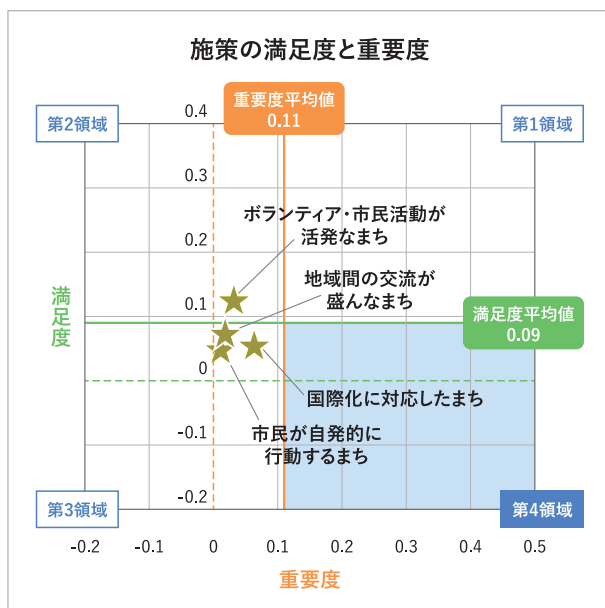
市民活動の活性化と地域交流の促進

【施策の目的】

町会・自治会活動や市内における市民活動が活性化し、様々な人が地域活動に参加することで、地域課題の解決に取り組めるように、地域コミュニティを支援する体制の充実を図ります。また、戸田市への愛着が醸成されるよう、戸田ふるさと祭りの開催や国内外の都市との交流を促進します。

現況と課題

- 戸田市では、高い転出入率や単身世帯や外国人市民の増加、町会・自治会に関する情報発信不足などにより、町会・自治会の加入率の低下や後継者の不足、担い手の高齢化などが課題となっており、個々の町会・自治会の抱える問題の解決に向けた後方支援が急務となっています。
- 社会情勢の変化に伴い、自らの手で地域課題の解決に取り組む市民活動団体やNPO[※]法人などが年々増加傾向にあります。町会・自治会やコミュニティ関連組織、市民活動団体などの協力・連携体制が明確に整備されておらず、地域コミュニティ組織の必要性を検討し、設立に向けた協議などを働きかける必要があります。特に市民活動団体は、自立的かつ安定的に活動を継続するために、活動資金や後継者の確保が求められています。
- 国内外との交流については、国外友好・姉妹都市[※]と国際・政治的情勢の外的要因や制度的な壁などにより円滑な交流が進まないという課題があるものの、戸田市友好交流事業推進委員会と連携し、それぞれの友好・姉妹都市との連絡調整を図りながら交流事業の促進に取り組んでいます。
- 国は、外国人材の受入れ促進の方針を打ち出しており、今後ますます増加が見込まれる外国人との共生社会の実現をスピーディーかつ着実に進めていくこととしています。また、訪日外国人の増加により、国際交流や異なる文化との交流に対する意識の醸成が求められています。
- 戸田市においても外国人市民が増加しており、戸田市国際交流協会や町会・自治会をはじめとする地域コミュニティと協働しながら、日本の文化・伝統や地域内のルール・情報を分かりやすく伝え、外国人市民が住みやすくなるような環境を整備する必要があります。





取り組みの方針

(1) 地域コミュニティの活性化

- ★ 町会・自治会未加入世帯への加入啓発活動や地域コミュニティの効果的な情報発信・共有を継続します。また、行政からの依頼事項の見直しを図り、町会・自治会の負担軽減に取り組むことで、町会・自治会加入世帯の増加や担い手不足の解消に努めます。
- ★ 町会・自治会への加入率だけでなく、町会・自治会の行事への参加率向上や活動の活発化に向けて、町会・自治会や地域の組織・団体などが相互に協力・連携して地域課題について話し合い、解決に向けて取り組む新たな地域コミュニティ協議会^{*}の設立を推進します。

(2) 市民活動の支援推進

- ★ 市民活動団体が自立的かつ安定的に活動を継続できるよう市民活動の活性化を図るとともに、市民や市民活動団体が感じている地域課題や行政が抱える分野の課題を市民活動団体などの活動により解決を目指すことで、市民活動団体などの力を生かしたまちづくりを進めます。

(3) 国際・国内交流の促進

- 国際交流については、友好・姉妹都市との綿密な連絡調整を進め、教育効果が高く評価されている青少年の交流事業を中心に事業を継続していきます。
- 国内交流については、市民に対して、友好・姉妹都市の情報発信を積極的に行い、交流の促進を図ります。

(4) 外国人市民への支援

- 外国人市民への支援の充実や住みやすい環境の整備を進めることで、地域交流の促進を図ります。

主要指標

指標名	指標説明	当初値	目標値	備考
地域の活動に参加している市民の割合	「地域活動やボランティア活動への参加」について参加したと回答した市民の割合	42.3%	42.6%	【市民意識調査】平成26年度(2014年度)から平成30年度(2018年度)の増加率の平均値(年0.05%)を加算
多文化共生推進計画の進捗率	戸田市多文化共生推進計画の具体的な施策の進捗率	79%	100%	多文化共生推進計画に基づく進捗率
ボランティア・市民活動支援センター登録団体数	ボランティア・市民活動支援センターに登録された活動団体数	171	171以上	減少傾向を改善

関連計画

- 地域コミュニティ推進計画
- 戸田市市民活動推進基本方針
- 戸田市多文化共生推進計画

